

Contents

はじめに 2

第1章 ゴスペル礼拝の疑似体験 11

ゴスペル礼拝紙面VR	12
ウェルカム	13
祈りから賛美のビートへ	15
クールダウン／礼拝曲	17
プレイズブレイク	18
祈り	20
献金の軽やかなビート	21
グリーティング	22
クワイアー登場（マーチン）	23
メインイベント／説教	25
オルターコール・呼び出し	27
現場の今	30
コラム：文化ギャップに蒼白の牧師	32

第2章 ゴスペル史・「アフリカの血」の悲しき旅 35

アフリカの血	36
この国はゴスペルの何に魅せられたのか	38
ルーツ、母なるアフリカ	39

黒人奴隷の発生	40
奴隷たちの歌	43
3つの礼拝音楽	46
ライニングアウト（詩篇）	47
ヒムン（聖歌）	49
スピリチュアル（霊歌）	50
暗号を秘めた歌ーダブルミーニング	52
地下鉄道	55
歌に機能あり	57
黒人教会の誕生	59
コラム：「黒人教会」など存在しない？	60
奴隷音楽の観光化	62
音楽ジャンルのビッグバン	65
コラム：往年のレディー、もっともつらい記憶	67
ジャンルの二親性	69

第3章 命のコーラス音楽理論 71

命をつなぐコーラスの構造	72
2つのベクトル・生活音楽と芸術音楽	73
「三声平等」の美学	77
バンドの独立進化	82
地声コーラスの振動	86
くり返し音楽・トランスへの導き	89
思っていることを歌う・忘れられた大前提	91
コラム：結婚式でサヨウナラ	94

第4章 ゴスペルミュージックと日本人 95

日本人と一神教	96
コラム：台風は「アタック」するか？	101
一神教の将来性	103
和製ゴスペルの頓挫	105
ゴスペルというジャンル名の由来	109
コラム：誇り高きちゃらんぼらん	112

第5章 命のコーラス 115

ヒーローとワルがともに歌う歌	116
ゴスペル／あの記憶にもっとも近い音	117
フェンスという国境を挟んで	120
名乗らない、という結論	122
「パワーコーラス」	125

第6章 すべての人がともに歌う未来へ 127

あとがき	130
------	-----